

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成21年9月17日(2009.9.17)

【公表番号】特表2009-502160(P2009-502160A)

【公表日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-004

【出願番号】特願2008-523489(P2008-523489)

【国際特許分類】

A 2 4 B 15/26 (2006.01)

【F I】

A 2 4 B 15/26

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月28日(2009.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

高タバコ溶質の溶液を装置内で形成する方法であって、前記方法は、

i) タバコを含有する第 1 の容器に抽出溶媒を流入させることによってタバコからタバコ溶質を抽出して、タバコとタバコ溶質含有抽出溶媒との混合物を形成する段階と、

i i) 捕捉溶媒を含有する第 2 の容器に前記タバコ溶質含有抽出溶媒を流入させることによって、前記抽出溶媒から前記タバコ溶質を取り出す段階と、
を含み、

前記タバコ溶質は、ニコチンと少なくとも 1 つのタバコ香味化合物又は少なくとも 1 つの芳香化合物とを含み、前記捕捉溶媒は、プロピレングリコール、トリアセチン、グリセリン、及びこれらの混合物から成るグループから選択される、
ことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記抽出溶媒が超臨界流体を含み、該超臨界流体は、段階 i) 及び i i) 中に超臨界状態で維持される、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

ニコチン及び前記少なくとも 1 つのタバコ香味化合物又は前記少なくとも 1 つのタバコ芳香化合物は、タバコから同時に抽出される、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記タバコ中の溶質の少なくとも 50 重量%又は少なくとも 80 重量%が前記タバコから抽出される、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記超臨界流体は二酸化炭素を含む、

ことを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 6】

前記超臨界流体は更に、水、エタノール、メタノール、アセトン、プロパン、2-プロパノール、クロロホルム、1, 1, 1-トリクロロエタン、2, 2, 2-トリフルオロ

エタノール、トリエチルアミン、１，２－ジブロモエタン、及びこれらの混合物から成るグループから選択された共溶媒を含む、
ことを特徴とする請求項２に記載の方法。

【請求項７】

前記捕捉溶媒は、本質的にプロピレングリコールから成る、
ことを特徴とする請求項１に記載の方法。

【請求項８】

請求項１に記載の方法に従って作られた高タバコ溶質の溶液を含むシガレット。